

平成 19 年 7 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 19 年 6 月 5 日

会 社 名 サムコ 株式会社

(JASDAQ・コード番号：6387)

(URL <http://www.samco.co.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 辻 理

問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長兼経理部長

氏 名 田井 彰

(Tel：(075) 621 - 7841)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（一部簡便な方法を採用）
 ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 19 年 7 月期第 3 四半期業績の概況（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日）

（1）売上高等の状況

（百万円未満は切捨表示）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期) 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19 年 7 月期第 3 四半期	3,311 (58.6)	592 (-)	593 (-)	352 (-)
18 年 7 月期第 3 四半期	2,088 (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(参考) 18 年 7 月期	3,079	162	158	98

(注) 1. 売上高及び各利益は、当該四半期までの累計値であります。

2. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

3. 平成 18 年 7 月期第 3 四半期については、売上高以外の項目を開示していないため、その他の項目を記載しておりません。

4. 前期及び当期の第 3 四半期に係る数値については、監査法人の監査を受けておりません。

[売上高等に関する補足説明]

当該第 3 四半期のがわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、海外経済が好調なことから輸出も増加しました。一方、個人消費は力強さを欠くものの底堅く推移しました。

こうした環境の中、当社は生産機の市場開拓を強力に推進すると共に、海外市場への積極的な営業展開を行い、オプトエレクトロニクス分野、電子部品分野でエッチング装置と CVD 装置の生産用装置の販売が大幅に拡大し、実装表面処理分野では洗浄装置が好調となりました。

その結果、当該第 3 四半期までの累計売上高は 3,311 百万円（前年同期比 58.6%増）となり、通期目標の 4,100 百万円に対する達成率は 80.8%となりました。また、海外売上高比率は前年同期の 17.1%から 22.6%と 5.5 ポイント増加し、通期では更に増加する見込みであります。一方、経常利益は 593 百万円で通期目標の 580 百万円に対する達成率は 102.2%となりました。

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

3. 平成19年7月期の業績予想（平成18年8月1日～平成19年7月31日）

	予想売上高 (百万円)	予想経常利益 (百万円)	予想当期純利益 (百万円)	1株当たり 予想当期純利益 (円 銭)
前回予想	4,100	580	348	71 17
今回予想	4,250	662	393	80 38

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、前述の [売上高等に関する補足説明] にありますように売上高、利益共に大幅増加見込みであり、平成19年3月14日の中間決算短信発表時に公表いたしました業績予想を上記のように変更しております。売上高は、前回予想の4,100百万円から4,250百万円（前期比38.0%増）、経常利益及び当期純利益は、売上高の増加に伴い前回は上回り、それぞれ662百万円（前期比4.1倍）、393百万円（前期比4.0倍）となる見通しです。また、受注は第4四半期に入りましても引続き好調であり、当期末の受注残高は前期末の1,236百万円を更に上回る見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上